



三柱神社「御賑会」 17年ぶり御神輿復元

10月9日から3日間、柳川に秋の訪れを告げる三柱神社秋季大祭「御賑会」が開催されました。10日の御神幸行列では、平成17年の火事で焼失したため、クラウドファンディングなどで寄付を募り復元された御神輿が、17年ぶりに披露されました。

CONTENTS

	ページ
市の決算報告、市職員給与	2~7
水都 info、立花宗茂外伝、ごみ減量	8~11
セアカゴケグモ、ヒアリに注意ほか	12~15
もちふみデビュー、まちかどレポートほか	16~19
お知らせ掲示板、思い出写真館ほか	20~27



①小学1年から剣道を始めた徳永さん。九州大会で優勝するまでに成長
②得意技は面。九州大会の決勝では面を決めて優勝③8月30日、九州大会優勝を教育長へ報告



柳川探求

No.20

柳川で光り輝く人や魅力的なもの・ことを紹介します。

九州中学校剣道大会で優勝 高校では全国の舞台での活躍を誓う 徳永 裕士朗 さん(蒲船津・15歳)

三橋中学校3年の徳永裕士朗さんが、8月に開催された九州中学校剣道大会個人戦で優勝を飾りました。

剣道一家の家庭で剣道を始める

父と兄、姉も剣道経験者という剣道一家で育った徳永さん。小学校1年のとき、兄、姉が通っていた「藤吉道場」に入部しました。普段は大人しい性格の徳永さん。しかし、剣道の面をかぶると負けず嫌いの性格になるそうです。上級生に交じって、週3回道場での稽古に打ち

込みました。中学1年になると、1年生ながら玉竜旗大会団体戦の副将を務め、チームを3位に導きました。その後、玉竜旗大会優勝を目標に掲げます。しかし、新型コロナウイルスの影響で、練習試合さえできない時期が続きました。目標にしていた玉竜旗大会が2年続けて中止になり、中体連の大会だけが行われることに。中学生最後の大会に向けて、得意技の面を磨くため、毎日200本の素振りやなわとびなどに励み、足腰を強化したそうです。中体連の個人戦で

は練習の成果を発揮し、県大会で3位に入賞。その後の九州大会では、32人が集まった男子個人の部でトーナメント5試合を勝ち抜き、決勝では得意の面を決め、見事優勝を飾りました。

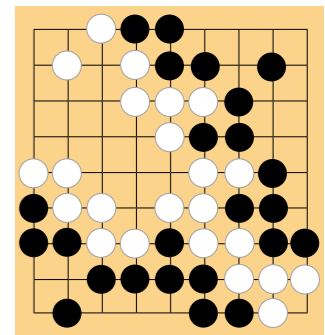
技を磨き 高校でさらなる高みを目指す

「相手の一瞬の隙を狙うのが自分の強み」と話す徳永さん。今後の目標を尋ねると「高校では得意の面をさらに磨いて、全国で活躍できるように頑張りたい」と話してくれました。

柳川観光大使

大淵盛人九段の次の一手

【今月の問題】初級編 終局のシーンです。黑白どちらが勝ちでしょう(取石は黑白共に0です)。【今月の豆知識】謎とされる囲碁の起源。中国皇帝創作説は現代では伝説視されています。他に碁盤を宇宙とした占星術説もあります。日本には飛鳥時代に既に碁盤は存在し「君子のたしなみ」とされていました。



編集後記

小学生の2人の男の子が交差点に転がっていたボールを交番に届けてくれた。交通量が多く事故が起きると危ないからだろう。持ち主が見つかったも僕たちのことは知らせないでくださいと警察官に伝えました。正義感と思いやりのある行動に胸を打たれた。男の子の将来の夢は警察官だそうです。(幸雄)